

ゴミサー <生ゴミ処理・消滅装置>

地球に優しい、大自然の力を応用した消滅型生ゴミ処理機。

■ 主な機能

攪拌技術から生まれたゴミサー。コア(媒体)と混合接触させ、発酵分解・消滅します。

換気ファン(オプション)

屋内に設置する場合。
屋外は必要なし。

ミキシング

長年のミキサー製造で研究開発された高度な攪拌技術。より素早く均等に生ごみと媒体を攪拌し微生物の分解を助けます。

給水口

微生物が活発に活動するための水分を補給。また臭いを抑える効果もあります。補給は攪拌運転時のみ自動に行われます。



投入口

間欠運転ですが、攪拌中フタを開けても自動停止します。

保温ヒーター

微生物の環境を良くするために自動的に温度コントロールしています。

コア(媒体)

微生物の繁殖活動に必要な「酸素」「温度」「水分」を保つ、いわば微生物の巣。

排水口

分解後の養分を含んだ水分を排出します。排出されたものは、下水道・浄化槽・クリストラップ・下水に流します。

■ 「消滅型」と「堆肥型」の違い

※一般的な「消滅型」「堆肥型」のバイオ式生ゴミ処理機と比較しています。

	消滅型(ゴミサー)	堆肥型
生ゴミの水切り	不要(水分を気にせず投入可能)	水切り必須で常に水分調整に気を遣う。 水分が多いと分解できず、 数日投入不可もしくは中身全交換
臭い	散水機能で臭いの成分を洗浄。 フタを開けたときに少し臭う程度	強い
残渣の後処理	不要(取り出し・交換一切なし)	1ヶ月に1回。 一部取り出しまたは全交換
ランニングコスト	省電力・年数回の 少量の媒体補充で済むため低い	水分を蒸発させるため高い 消費電力・燃料費が必要。かつ、定期的な 媒体交換が必要なため高い
本体サイズ	余分な空間が必要ないため小さい	残渣用の余分な空間を要するため大きい (小さいと残渣の取り出しが頻繁に必要)
メンテナンス契約	不要(任意)	必要(1ヶ月に1回)